

令和2年11月1日実施

龍谷大学付属
平安中学校ドラゴンテスト解答解説

Ⅱタイプ

算 数

解答・解説(ドラゴンテスト<Ⅱタイプ>)

① 〈解答〉 < 1 > (1) 26 番目 (2) 420 (3) 625 番目

< 2 > (1)
$$\begin{array}{l} \boxed{3 \times 3 - 2 = 7} \\ \boxed{2 \times 5 - 3 = 7} \end{array}$$
 (2)
$$\begin{array}{l} \boxed{8 \times 3 \div (9 - 6) = 8} \\ \boxed{4 \times 4 \div (7 - 5) = 8} \end{array}$$

【配点：< 1 >各 4 点× 3 < 2 >各 4 点× 2】

〈解説〉 < 1 >

- (1) 1 番目 0, 2 番目 1, …, 5 番目 4, 6 番目で 10 となり 2 桁目が出ます。同じように考えると 11 番目 20, …, 21 番目 40, …, 25 番目 44 となるので, 26 番目は 100 になります。このことから 100 は 26 番目 となります。
- (2) (1)と同じように考えると 26 番目 100, …50 番目 144, 51 番目 200, …, 101 番目 400 となります。このことより 111 番目は 420 となります。
- (3) まず, 一番最後の数は 4444 です。何番目かを(1)や(2)と同じように考えると 101 番目 400, …, 125 番目 444, 126 番目 1000, …, 251 番目 2000, …, 501 番目 4000, …, 625 番目 4444 となるので, 一番最後は 625 番目 となります。

< 2 >

考え方はいろいろあるとは思いますが, 上段の式で問題が成立するかどうかを確認してから下段ができるかを考えるのが意外と近道かもしれません。+ - × ÷のみでなく () を利用する判断をすることも慎重に考えてみましょう。

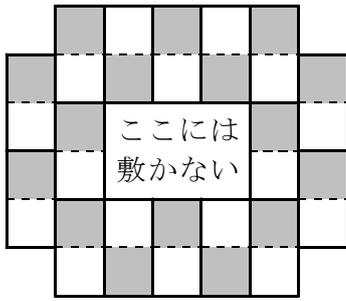
② 〈解答〉 (1) 30324cm^2 (2) 例：白と黒の枚数が違うから
(3) ア：○ イ：○ ウ：× (4) ア：× イ：○
(5) 例(次ページ)

【配点：(1)(2)各 4 点 (3)(4)小問各 2 点× 5 (5)2 点】

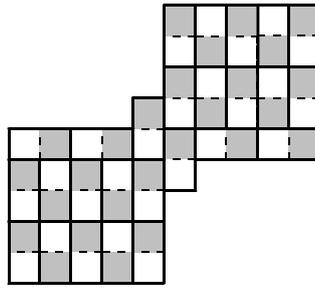
〈解説〉 (1) 一番大きな畳が, 95.5cm と 191cm です。求める面積の縦の長さと同じ 382cm になり, 面積は $382 \times 382 = 145924(\text{cm}^2)$ です。また, 一番小さな畳が, 85cm と 170cm です。求める面積の縦の長さと同じ 340cm になり, 面積は $340 \times 340 = 115600(\text{cm}^2)$ です。よって, 面積の差は, $145924 - 115600 = \underline{30324(\text{cm}^2)}$ となります。

(2) 畳 1 枚を敷こうとすると, どこでも「白と黒」で畳 1 枚となります。しかし, 問題の図 5 を見ると白が 8 枚と黒が 6 枚と枚数が違うので, セットにならない部分が必ず出てきてしまいます。よって, 畳を敷き詰められないことが分かります。

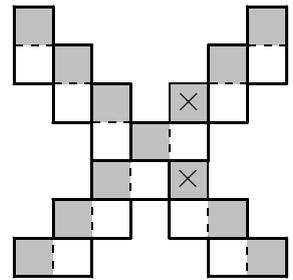
(3) (ア)(イ)(ウ)を白と黒で塗ったら, 次ページの図のようになります。(ア)(イ)は枚数が同じになりますが, (ウ)は黒が 13 枚, 白が 11 枚となります。よって, (2)より, (ア)(イ)は敷き詰められますが, (ウ)は敷き詰められないことが分かります。



(ア)

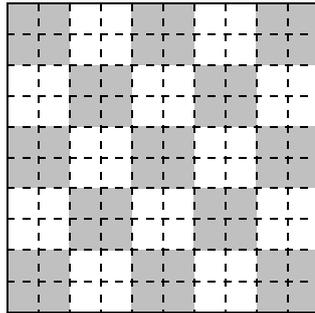


(イ)

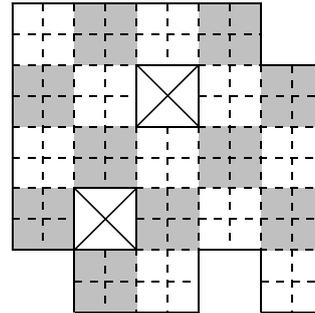


(ウ)

- (4) (ア)(イ)を 2×2 のマス目をひとつとして白と黒を塗ると、下の図のようになります。



(ア)

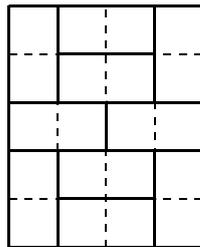


(イ)

そうすると $\langle 1 \times 4 \rangle$ の畳をどのように敷いても白 2 枚と黒 2 枚となります。 (ア) では、 2×2 のマス目を①枚として白と黒の枚数を数えると、黒が⑬枚、白が⑫枚です。枚数が違うので、問 2 と同じ理由で敷き詰められません。 (イ) も同様に、 2×2 のマス目を①枚として白と黒の枚数を数えると、白も黒も同じ⑩枚なので、敷き詰められることが分かります。

- (5) 例のような敷き方をすると、角 4 つ(十字)は出来ません。

例



- ③ 〈解答〉 (1) 最初の数 26, 最後の数 46 (2) 82
 (3) 例：○に 2 を足した数と○をかけて、さらに 2 を引く (4) 20

【配点：各 5 点 × 4】

〈解説〉 (1) まず規則を読み取ります。

4 ずつ増える数があり、さらに足す数の個数が 1 つずつ増えていることがわかります。

よって $6 \times 6 \times 6 = 26 + 30 + 34 + 38 + 42 + 46$ となるので、【最初の数】は 26、【最後の数】は 46 となります。

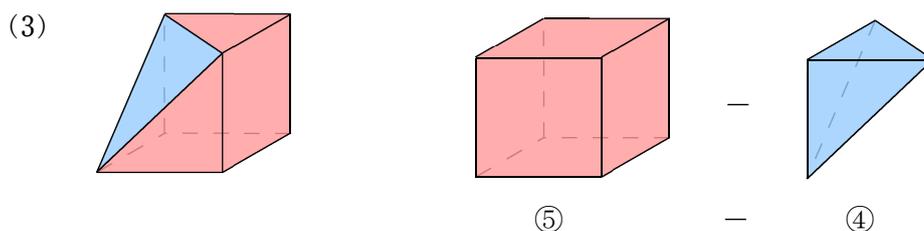
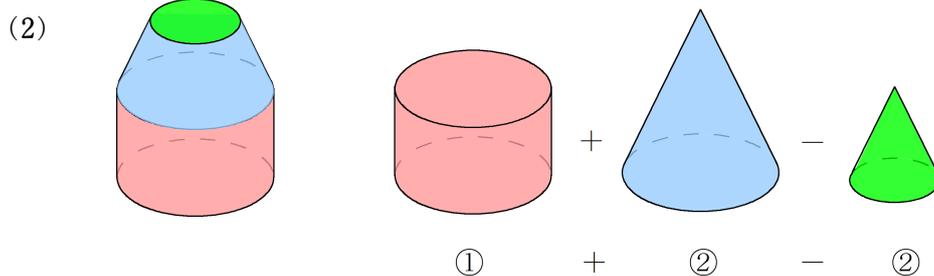
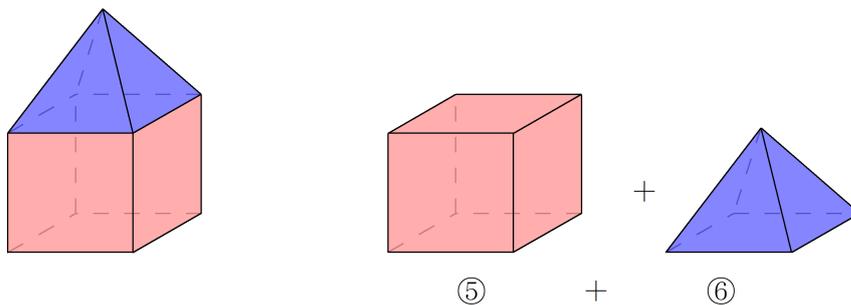
- (2) ①のように考えると、10 から 2 を引いた数と 10 をかけて 2 を足せばよいので、 $(10 - 2) \times 10 - 2 = 8 \times 10 + 2 = \underline{82}$

- (3) それぞれの【最後の数】は、
 $2 \times 2 \times 2 \cdots 6 = (2 + 2) \times 2 - 2$
 $3 \times 3 \times 3 \cdots 13 = (3 + 2) \times 3 - 2$
 $4 \times 4 \times 4 \cdots 22 = (4 + 2) \times 4 - 2$
 $5 \times 5 \times 5 \cdots 33 = (5 + 2) \times 5 - 2$
と表せることから
 $\bigcirc \times \bigcirc \times \bigcirc \cdots \square = (\bigcirc + 2) \times \bigcirc - 2$
と考えられます。
つまり ○に2を足した数と○をかけて、さらに2を引くと求められます。

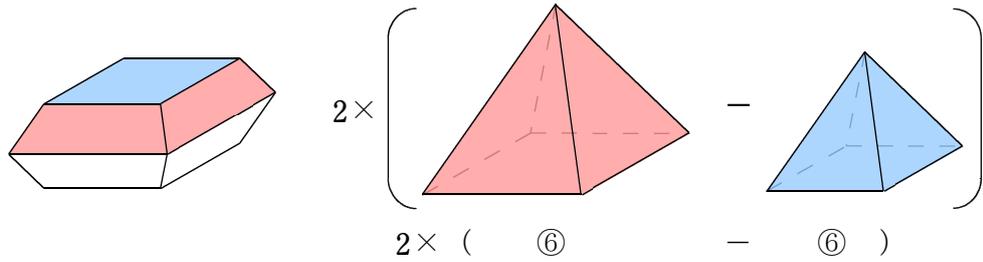
- (4) それぞれの【最後の数】と【最初の数】の差を求めると
 $2 \times 2 \times 2 \cdots 6 - 2 = 4 = 4 \times 1$
 $3 \times 3 \times 3 \cdots 13 - 5 = 8 = 4 \times 2$
 $4 \times 4 \times 4 \cdots 22 - 10 = 12 = 4 \times 3$
 $\bigcirc \times \bigcirc \times \bigcirc \cdots \square - \square = \square = 4 \times (\bigcirc - 1)$
と表せることから、4の倍数となっていることがわかります。
よって、 $76 = 4 \times 19$ より 20を3回かけた数だとわかります。

- 4] 〈解答〉 (1) ⑤+⑥ (2) ①+②-② (3) ⑤-④
(4) $2 \times (\textcircled{6} - \textcircled{6})$ または、 $\textcircled{5} + (\textcircled{3} \times 4) + \{(\textcircled{6} \div 4) \times 8\}$
【配点：(1)(2)(3)各4点 (4)各4点×2】

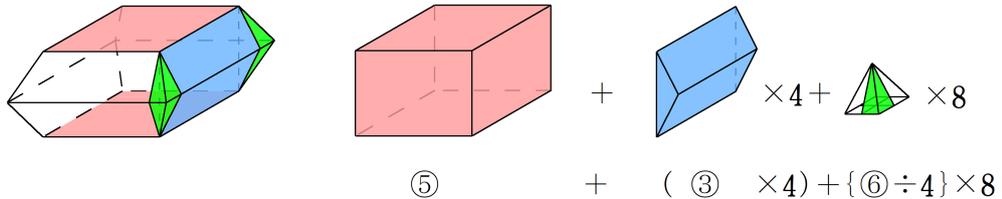
〈解説〉 (1)



(4)



または,



5 〈解答〉 (1) 5% (2) 3 : 7 (3) 375g

【配点 : (1)6点 (2)6点 (3)8点】

〈解説〉 (1) 具体的な量が出ていなくて、割合で示されている場合は自分自身で量を設定して考えると解きやすい場合があります。今回は容器 C には A と B の両方から 600g ずつの食塩水をとってきたとすると計 1200g となり、食塩の量は 120g となります。同様に容器 D には 3 : 2 なので A から 600g, B から 400g の食塩水をとってきたとすると計 1000g となり、食塩の量は 90g となります。C も D も A からは 600g ずつと同じ量を入れたので、C と D の食塩の量の差 30g は容器 B からの量の差 200g ということがわかります。このことから、容器 B 200g 中 30g が食塩の量とわかったので、容器 A からは 600g の食塩水の中に 30g の食塩があることがわかります。よって、 $30 \div 600 = 0.05$ つまり 5% となります。

(2) まず、容器 A が 5% なので、容器 B は 15% だとわかります。そこで、(1)と同様に 12% の食塩水 1000g ができあがっていると考えます。このときの食塩の量は 120g です。もし、すべて容器 A だとすると食塩の量は 50g なので、70g 足りません。また、容器 A 100g と容器 B の 100g を入れ替えると食塩の量が 5g 減って 15g 増えるので 10g 増えることとなります。70g 増やすためには $70 \div 10 = 7$ となり、容器 A を 300g で容器 B を 700g にすると良いことがわかります。よって A : B = 3 : 7 となります。

(3) 容器 F と容器 G の食塩の合計は $50 + 90 = 140$ (g) です。移動の食塩水の量にかかわらず、食塩の量の合計は 140g です。そこで、同じ量を交換するので、交換後の食塩水の量は容器 F は 1000g で容器 G は 600g です。そのときの濃度が同じになるので食塩の量も比例します。食塩の量を 5 : 3 に分けると解決します。容器 F には食塩が 87.5g となり 37.5g 増えています。(2)と同じように考えると $37.5 \div 10 = 3.75$ になるので、入れ替えたのは 375g となります。

令和2年11月1日実施

龍谷大学付属
平安中学校ドラゴンテスト解答解説

Ⅱタイプ

理科・社会 複合問題

受験番号

社会 解答用紙

1

(1)	お	き	な	わ						
(2)	エ	(3)	イ							
(4)	(食品を生産したり、販売したりする産業は、) 持ち帰りサービスを行う、残った食品を肥料などに再利用する、など									
(5)	イカウかエ	(理由)	イ (差出人不明のチェーンメール)・ウ (IDやパスワードは人に言うべきではない)・エ (人の写真や映像を勝手にアップしてはいけない)							
(6)	カ	(7)	30	(8)	ウ	(9)	エ			
(10)	三方が山に囲まれているので、敵に攻められにくいから、など									
(11)	ウ									
(12)	イ									

2

(1)	(この二つの写真は、長引く戦争や) 物資が不足 (する中、)									
(2)	エ									
(3)	①	イ	②	ア						
	③	日本は2011年に発生した東日本大震災の影響により、原子力発電が停止されたため、火力発電が増加した。								
(4)	エ	(5)	エ	(6)	オ					
(7)	①	イ	②	イ	③	ウ				
(8)	エ	(9)	リ	サ	イ	ク	ル	マーク		

各2点×25

歴史
22点

地理
20点

公民
8点

総計

1

<解答>

- (1) おきなわ
- (2) エ
- (3) イ
- (4) 持ち帰りサービスを行う，残った食品を肥料などに再利用する，など
- (5) 「ア」は問題はないメールであると考えられるので，「イ～エ」の中から一つ選択し，自分なりに問題を指摘する。(あとの解説参照)
- (6) カ
- (7) 30
- (8) ウ
- (9) エ
- (10) 三方が山に囲まれているので，敵に攻められにくいから など
- (11) ウ
- (12) イ

2

- (1) 物資が不足 など
- (2) エ
- (3) ① イ ② ア
③ 日本は2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により，原子力発電を停止しました。そのため，原子力発電でまかなっていた電力を火力発電で補わなければならないとなり，火力発電が増加しました。
- (4) エ
- (5) エ
- (6) オ
- (7) ① イ ② イ ③ ウ
- (8) エ
- (9) リサイクル

<配点>

各2点 (全25問)

地理系 2点×10問＝20点

歴史系 2点×11問＝22点

公民系 2点×4問＝8点

<解説>

1

- (1) 会話文の中にある「地上戦」や「ひめゆり」より、「おきなわ」戦の話だと分かります。
- (2) 正解はエです。世界地図よりフランスは北半球にあり大西洋に面し、日本は北半球にあり太平洋に面しています。フランスからオーストラリアの直線距離はおよそ 15,000km、日本からオーストラリアの直線距離はおよそ 7,000km です。
- (3) 正解はイです。かな文字は平安時代に生み出されたので、都は平城京ではなく平安京です。
- (4) 食べ残しを残さない工夫として、客への呼びかけはもちろんのことですが、持ち帰りサービスなども実施されています。また、食べ残しが出たとしても、それを肥料に換えて再利用するなど食品ロスをなくす工夫と考えられます。
- (5) アは特に問題がないと考えられます。
イは、差出人が不明で、チェーンメールのような内容になっていますので気をつけなければなりません。
ウは、ID やパスワードは他人に教えてはいけません。
エは、人の写真を勝手に撮ったりその画像を勝手にアップしてはいけません。
- (6) 正解はカです。徳川家康は天下分け目の戦いといわれた関ヶ原の戦いで勝利し、天下一の武将として全国の大名を支配しました。豊臣秀吉は、大阪に城を築いて政治の拠点しながら、検地と刀狩りにより、武士と百姓、町人の身分を区別しました。織田信長は安土に城を築き、城下町で楽市楽座をはじめたり、足利氏を京都から追放して室町幕府をたおしたりしました。
- (7) 正解は 30 です。長崎に原子爆弾が落とされた日は 8 月 6 日、広島に原子爆弾が落とされた日は 8 月 9 日、終戦の日は 8 月 15 日です。したがって $6 + 9 + 15$ で合計 30 になります。
- (8) 正解はウです。アは誤りで、奈良時代に鑑真が仏教の教えを正しく広めるために日本に招かれました。イは誤りで、室町時代にフランシスコ・ザビエルがキリスト教を広めるために鹿児島に上陸しました。エは誤りで、安土桃山時代に堺などの港町が、南蛮貿易によって栄えました。

- (9) 正解はエです。紫式部が書いた『源氏物語』では、宇治川をはさんで東側に現世を、西側に仏教が説く極楽浄土を想像させる場面が出てきます。当時の貴族たちは、世の中に対する不安や末法の考え方により、きらびやかな極楽浄土に対するあこがれが強かったといえるでしょう。
- (10) 問題文には「色に注目して」とあるので、三方が山に囲まれていることを読み取ります。そこに気付けば敵に攻められにくいことなどが理由にあげられます。
- (11) 正解はウです。大日本帝国憲法には国民の権利が保障されていましたが、「男性のみ」などの限定的な規定はありません。また、法律の範囲内で認めていたのも大日本帝国憲法です。日本国憲法は、基本的人権として男女日本国民に認めています。
- (12) 正解はイです。森林が雨水を地中にたくわえ、やがて地上に湧き出た水が川になります。川の水を取水口が取り入れて浄水場に送られ、きれいになります。きれいになった水は各家庭などに送られ、使われた水は下水処理場に集めてきれいにしてから川や海に流します。

2

- (1) 写真 1 は人々に節約を呼びかけています。写真 2 は配給制の様子です。したがって、当時の「物資（食料）の不足」という状況に対する写真だと分かります。
- (2) 正解はエです。日本に金属が伝わったのは弥生時代です。アは奈良時代、イは縄文時代、ウは飛鳥時代、エは弥生時代の話です。
- (3) ① 正解はイです。2019 年の原油の輸入先の第一はサウジアラビアです。図 2 中のアはトルコ、ウはアラブ首長国連邦、エはインドです。
- ② 正解はアです。高度経済成長期は 1955 年～ 1973 年までの 19 年間を指します。そして、足尾銅山の公害は 1880 年代に起こりました。
- ③ 日本は 2011 年に発生した東日本大震災の影響により、原子力発電が停止されたため、火力発電が増加した。
- (4) 正解はエです。アとウは図 4 を、イとエは図 5 から読み取ることができます。

- (5) 正解はエです。国際連合発足は 1945 年，日本が関したのが 1956 年です。朝鮮戦争がおこったのは 1950 年，日本国憲法施行は 1947 年，サンフランシスコ平和条約が締結されのは 1951 年，東京オリンピックが開催されたのは 1964 年です。
- (6) 正解はオです。日本の漁業・養殖業生産量は、昭和 59（1984）年をピーク（1,282 万トン）に平成 7（1995）年頃にかけて急速に減少しました。沖合漁業の昭和 59（1984）年以降にみられる急速な減少は、沖合漁業のうちまき網漁業によるマイワシの漁獲量の減少によるものです。
- (7) ① 正解はイです。アは奈良県の東大寺，イは京都府の平等院鳳凰堂，ウは奈良県の法隆寺，エは兵庫県の姫路城です。
② 正解はイです。アは宮城県，イは福井県，ウは石川県，エは愛知県です。
③ 正解はウです。救急車やパトカーの出動は税金でまかなわれます。
- (8) 正解はエです。せいたさんが清掃活動を行った範囲内の地図記号は左から郵便局，警察署，小学校，神社です。
- (9) 正解は「リサイクル」です。リサイクルマークには様々なものがありますが，問題にあるものは法律で義務づけられている包装容器の識別表示の一つです。

受験番号

理科 解答用紙

3 【I】

(1)	②	(5)	水蒸気を含んだ空気は上昇すると、
(2)	④		気温が下がる。気温が下がると、飽和水蒸気
(3)	④		量が下がり、空気中に含むことができなくな
(4)	26 g		った水蒸気が水滴となって雲ができる。

【I】小計

25

(1)・(2)・(4) : 各5点×3 (3) : 4点 (5) : 6点

【II】

(1)	④	(6)	A	③	B	②
(2)	① ③ ④	(7)	②			
(3)	③	(8)	ろ紙の繊維のすき間が泥の粒よりも			
(4)	③		小さかったから。など			
(5)	③					

【II】小計

25

(1)~(7) : 各3点×7=21点 (8) : 4点

総計

50

3

【 I 】〈解答〉

- (1) ② 5 点
(2) ④ 5 点
(3) ④ 4 点
(4) 26g 5 点
(5) 水蒸気を含んだ空気は上昇すると、気温が下がる。気温が下がると、飽和水蒸気量が下がり、空気中に含むことができなくなった水蒸気が水滴となって雲ができる。
6 点
計 25 点

〈解説〉

- (1) 流水の 3 作用をおさえておきましょう。

侵食作用：水の流れる力によって地面がけずられる作用です。流速が速い川の上流で大きくなります。

運搬作用：侵食によってけずられた土や砂が、流れる水によって運ばれる作用です。流速が速く、水量が多い川の中流で大きくなります。

堆積作用：流速がおとろえ、土や砂を運ぶことができなくなり、運搬してきた土砂を積もらせる作用です。堆積作用は、流速が非常に遅い川の下流で大きくなります。

- (2) 流水の 3 作用によってつくられる地形についておさえておきましょう。

V 字谷：山地を流れる川は、流速が速く、川底を侵食するはたらきが強く、深い谷をつくります。この谷は、断面が V 字形なので、V 字谷といいます。

扇状地：川が山あいから、急に平地に出るところでは、流速が急に遅くなるので、堆積作用がさかんになり、そこまで運んできた土砂を堆積させて、扇形の地形をつくります。この地形を扇状地といいます。

三角州：大きな川の河口付近では、流速が非常に遅くなるので、堆積作用がさかんで、積もった土砂によって、新しい土地(島)ができます。この土地は、三角形をしていることが多いので、三角州といいます。

三日月湖：川の中流や下流で、川が曲がっているところでは、外側では川岸が侵食されてけずられ、内側には土砂が堆積していくため、川の曲がり方はだんだんと大きくなり、その結果、川はへビのように曲がりくねって流れるようになります。これを蛇行だこうといいます。蛇行しているところで、大洪水だいこうずいなどが起きると、勢いのついた水が、近道を通って、まっすぐ流れることがあります。いったん、近道ができるとその後、近道ばかりを流れるため、曲がった部分は取り残されて、三日月形の湖ができます。これを三日月湖といいます。

- (3) 水中のカルシウムやマグネシウムの濃度のうど こうどを硬度という値で表します。硬度の高い水を硬水こうすい、低い水を軟水なんすいといいます。海水中の石灰質せっかいしつや、サンゴ、フズリナ、貝などの生物の遺骸いがいなどが海底に堆積し、固まってできた岩石を石灰岩せっかいがんといいます。石灰岩の主成分は炭酸カルシウムたんさんです。ヨーロッパの水は、テチス海という太古の海の堆積物たいせきぶつでできた石灰質の大地に長時間とどまるため、硬水こうすいが多いです。逆に日本の水は、地中に長時間とどまらずに海へ流れるため、軟水なんすいが多いです。
- (4) 1000g の海水中に $1000 \times 0.034 = 34\text{g}$ のさまざまな物質とが溶けています。そのうち、塩化ナトリウムは 77.9% 含まれているので、 $34 \times 0.779 = 26.486\text{g}$ の塩化ナトリウムが溶けていると考えられます。小数第一位を四捨五入して、答えは、26g となります。
- (5) 一般いっぱんに気体は、熱の出入りが無い状態で膨張ぼうすると、温度が下がります。空気は上昇じょうしょうするときに膨張ぼうちようするので、気温が下がります。気温が下がると、空気中に含むことのできる水蒸気ふくの量が少なくなり、空気中に含むことができなくなった水蒸気すいてきが水滴すいてきとなって雲ができます。

【Ⅱ】〈解答〉

- (1) ④ 3点
(2) ①③④ 3点(完答)
(3) ③ 3点
(4) ③ 3点
(5) ③ 3点
(6) A ③ B ② 3点(完答)
(7) ② 3点
(8) ろ紙の繊維のすき間が泥の粒よりも小さかったから。など
4点
計 25点

〈解説〉

- (1) ろ過を行う際は、溶液をガラス棒に伝わらせて注ぎますが、ガラス棒はろ紙の厚くなっている部分に当てるようにします。またろうとの先端の長い方をビーカーの内側（内壁）につけます。
- (2) ダンゴムシは陸上にすんでいてエビやカニと同じ仲間の動物です。オキアミは海水中にすんでいます。
- (3) 布の繊維のすき間よりも大きいものは、布を通過できないので布の上に残ります。布の繊維のすき間よりも小さいものは、すき間を通りぬけて水の中に入ります。
- (4) 海水を温めると水だけが蒸発するので、蒸発した水を冷やして液体に戻すことで水と塩化ナトリウムに分けることができます。塩化ナトリウムも一緒に蒸発してしまうと、得られるものも海水になってしまいます。
- (5) Bの水を加熱して蒸発させ、生じた水蒸気をAで冷やして水を得ます。よって、Bが蒸発してできた水蒸気がAによって冷やされることと、液体に戻った水が空の容器に集められることが必要になります。
- ①：Bが蒸発してAに冷やされますが、冷やされてできた水はBの中に戻ってしまうので適しません。
- ②：①と同じ理由です。また、Aが蒸発しても容器全体が加熱されているため水に戻る量は少なく、またBの意味もなくなるので適しません。

- ③：正答。Bが蒸発してAに冷やされ、中央のビーカー内に水がたまります。
- ④：Bが蒸発してAに冷やされますが、ビーカー内に水がたまらないので適しません。
- (6) 泥の入った水を加熱することで蒸発させ、蒸発した水を冷やして液体に戻します。Bの液体を蒸発させるので、Bには泥の入った水が入らなければなりません。
- (7) Aの液体は水蒸気を冷やすためのものなので、冷たい方が効率がよくなります。Bは加熱して蒸発させるため、温かい方が効率がよくなります。
- (8) ろ過では、ろ紙の繊維のすき間よりも大きいものがろ紙の上に残り、すき間よりも小さいものがろ紙を通過してろ過されます。今回は、ろ紙の上に泥が残り、泥の入っていない水を取り出すことができました。よって、今回使ったろ紙の繊維のすき間よりも泥の粒の方が大きかったと考えられます。

問7

〈解答〉 (1)自動運転車のトロック問題 [4点]

〈解答例〉 (2)倫理的な判断基準を、人間が主体的に考え決めるということ。 [6点]

〈解説〉

(1)——線⑥の次の段落に、「しかし、技術の進歩だけでは乗り越えられない課題があります。それが『自動運転車のトロック問題』です」とあります。
(2)最終段落に注目しましょう。倫理的な判断基準をAIに委ねることはできないので、人間が主体的に決めるしかないという内容になっています。

問8

〈解答〉 エ [4点]

〈解説〉

——線⑦の前の段落に、「AIは歩行者を助けるようにプログラムされるべきでしょうか。それとも搭乗者を最優先で守るように設計されるべきでしょうか」とあります。これは、AI（機械）に判断させることが難しいということを示しています。

問9

〈解答〉 x 読書 y 工夫 [4点×2]

〈解説〉

文章「I」で筆者は、自分の思いや考えを、自分の言葉で伝え、かつ役立つアイデアを提供し、実行できる存在になる必要をうたっています。そして、鮪の養殖のエピソードは、工夫して考えて成功した具体例です。さらに、最終段落では、「余人をもって代えがたい」存在になるために、読書に励むべきだとも述べています。そこに注目しましょう。

問10

〈解答〉 省略 [50点]

〈解説〉

(二段目) 文章「I」の要旨は、AIの普及により、自分の考えを自分の言葉で伝えるだけの読み書きの能力が不可欠、ということでした。そして、文章「II」の要旨は、倫理的な判断はAIには不可能で、人間が主体的に判断をしていかななくてはならない、というものです。

(二段目) 省略

解答・解説

問1

〈解答〉 ア 「4点」

〈解説〉 接続詞・副詞の問題です。

Aはあとに「〜からです。」と続きます。(なぜなら)

Bは前の内容を受けて、それに引き続いて起こる事がらを述べています。(そして)

Cは問題が解決したあとで、再び、また問題が発生しています。(しかし)

問2

〈解答〉 オンリーワンの人間 「4点」

〈解説〉 「余人をもって代えがたい」とは、どのような意味かを問う問題です。第二段落の最後に、「オンリーワンとは、要は『余人をもって代えがたい』存在のことです。」とあります。

その直前にある、「オンリーワンの人間」をぬき出しましよう。

問3

〈解答〉 ア 「4点」

〈解説〉 第一段落に、「事務労働者の仕事がなくなる」との予測が述べられています。

問4

〈解答例〉 自分の思いや考えを自分の言葉で相手に伝える、読み書きの能力。 「6点」

〈解説〉 線③の二行あとに、「読み書きの能力が十分に備わっている」とあります。それに、どのような読み書きの能力かという説明を加えます。第四段落のはじめの「自分の思いや考えを、自分の言葉で相手にきちんと伝えられ、」というところに注目しましょう。

問5

〈解答〉 頭脳労働 「4点」

〈解説〉 記者のような仕事も「人間にしかできないと思われる仕事」でしたが、AIが進出してきました。第五段落では、記者の仕事を「頭脳労働」と言いかえています。

問6

〈解答例〉 AIは、限られた枠組みの中でより早く正確に答えを出すことは得意だが、枠組みを決めたり、意味を理解したり、答えが複数ある問いを考えるような営みは苦手だということ。 「6点」

〈解説〉 線⑤の直後に、「限られた枠組みの中でより早く正確に答えを出すような問いをAIに挑んでも、人間には勝ち目がありません」とあります。これがAIにとって得手な部分です。一方、その次の第七段落では、「枠組みそのものを決めたり、意味を理解したり、答えが一つに定まらない問いを考えるといった営みは苦手としている」とあります。

令和二年十一月一日実施

龍谷大学付属

平安中学校ドラゴンテスト解答解説

国語

Ⅱタイプ